## **PDCAチェックシート**

		· · · · · ·	_		
実施年度	令和3年度				
事務事業名		地域公共交通事業		担当課名	地域創生課
(Plan)	計画	【Do】実施·実行	【Check】 点検·評価	[Action]	処置·改善
わ市地域公共交通計画。	ン」となる「東かが 」に基づき、関係機	■具体的取組 地域公共交通計画に基づく「新たなモビリティの導入に向けた研究」として、地域の民間団体等との協働により引田地区でグリーンスローモビリティ(GSM)を活用した実証実験を実施した。「ターゲットを絞ったモビリティ・マネジメントの実施」として、市内の小学校にて、の乗り方教室を開催した。地域公共交通活性化協議会を3回開催した。	■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載)  GSM実証実験については、利用者団・アンケート及び地域アンケートを実施はできていない関係機関へのと対析を行通活性化協議会に対析を行通活性化協議会に対が表した。よりその結果をはしい、ンケート調査等によりでしたが強にに対い、シケート調査をはいるが関係とが関係とが関係といい、シケート調査が限ことが対限とが対策といい、対策といい、対域を表ができない。よりでは、地域があるのは、地域があるのができないが対している。といい、シケートが対したが対している。といい、シケートが対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域を表が、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対しているが、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対している。といい、対域に対域に対している。といい、対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対	て、一部の地域での 反発が大きく、全市 検討を行う必要があ また、これまでの ドアツードア型の支 く、今後はタクシー	地域からの意見とし 実施には他地域からの 的な支援策について、
■成果指標(アウトカム 【目標値】 東かがわ市地域公共: 各種施策の実施に努め 市内1箇所での実証: 行う。	交通計画に基づき、 る。	事業費等 ○地域公共交通活性化協議会報酬(3回) 84千円需用費(食糧費) 5千円 ○地域公共交通計画推進支援委託料委託料 2,101千円 GSM実証実験事業 1,406千円需用費 187千円役務費 62千円	長い地域の走行が難しいこと等の車両性能上の問題に加え、継続的に実施するには運転手の確保が難しいといったことから、GSMは日常的な移動手段としては課題も多く、本格運行は難しいとの結論に至った。		
【達成値(R3実績値)】 東かがわ市地域公共: 関係機関と連携のうえびその支援、調整を行 箇所での実証実験を実 行った。	、各種事業の実施及 った。また、市内1	■アウトプット(数量等) 実施回数等 ○地域公共交通活性化協議会の開催 3回 ○実証実験の実施 1回 ○モビリティマネジメントの実施 2回			